

東近江市 建部いきものの水路

-株式会社IHI 東近江市-

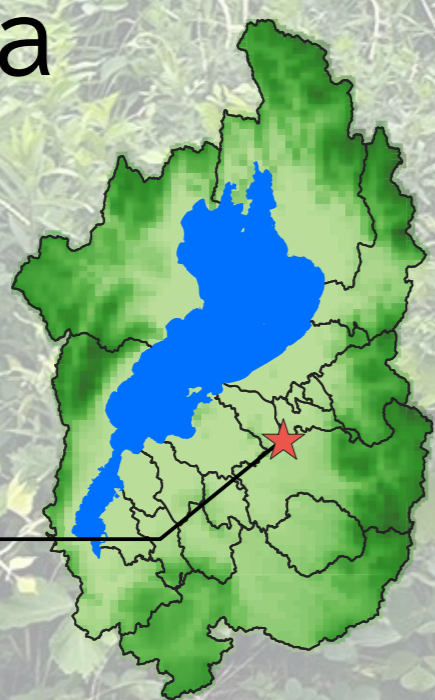
多様ないきものと人が集う水路

多様ないきものが集う水路と、自然に親しむ子どもたちの学びの場。
地域の生態系保全と環境教育の拠点となっています。

場所:滋賀県東近江市

面積: 0.58 ha

東近江市
建部いきものの水路



サイト概要

滋賀県湖東平野は、淀川水系愛知川によって形成された広大な水田地帯です。本サイトは、水田からの排水を愛知川に流す農業排水路であり、カワムツやオイカワなど多様な魚類の生息・繁殖場所となっています。隣接する「河辺いきものの森」では、里山保全や環境学習が行われており、子供たちの体験学習のフィールドとして活用されています。

地域等との連携

「河辺いきものの森」で活動するNPO法人遊林会と連携しながら自然再生の活動に取り組んでいます。また、滋賀県立大学やリバーフロント研究所の専門家から学術的な助言を得て、地域に根ざした活動を推進しています。

活動の内容

愛知川の河川生態系の保全・回復を目指し、水辺環境の保全作業や調査を行っています。また、隣接する「河辺いきものの森」と連携し、申請サイトを活用した環境学習プログラムの実施や、地域の子どもたちへの体験型教育を通じて環境意識の向上を図っています。



IHIオウンドメディア Core.tech記事



<https://ihi-core.tech/projects/1097>



生物多様性の状況

農業排水路では、カワムツやオイカワなど多様な魚類が生育し、ナマズやニシシマドジョウの稚魚も確認されています。一方、植生が少ない場所もあるため、バークエや植生基盤の整備により環境の多様化を進めています。

ネイチャーポジティブに向けてのメッセージ

NPO法人遊林会が開催している「川ガキ育成塾」では、子どもも大人も一緒に水路に入り、多様ないきものを観察し、水族館づくりを体験しました。「身近な用水路や川にも、思った以上に多くのいきものが暮らしていることに驚き、自然とふれあう楽しさや命の大切さを感じることができた。」との声も聞こえました。これからも地域の自然を守りながら、次世代へいきものや自然の魅力伝える活動を続け、「ネイチャーポジティブ」の実現を目指していきます。

そとこ！川ガキ育成塾



出典：NPO法人遊林会
(<http://www.yurinkai.org/>)

